

屋中だより

～ 屋中は今～

平成29年 6月 9日 No. 7

千曲市立 屋代中学校

学校長 塩野入幸隆

(文責) 生徒指導係 中谷 憲朗

<http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~yashirojh/>

* 「屋中だより」は、屋代中学校ホームページでご覧いただけます。(千曲市教育委員会⇒小中学校一覧⇒屋代中学校)

明日はいよいよ「中体連更埴大会」です！

明日は、いよいよ「平成29年度中体連更埴大会」の当日です。今週の7日(水)には全校生徒による壮行会が行われ、大会に向かう雰囲気も高まっています。特に、3年生の皆さんにとっては“最後の大会”を目前に、より一層気合が入っているのではないのでしょうか。また、今までの試合前日とは少し違った気持ちでいる選手もいるのではないのでしょうか。中には…これまでの“自分の道のり/部活動の思い出”が浮かんできている選手もいることでしょう。

さて、ここで校長先生が更埴大会壮行会で話して下さった“激励の言葉”を掲載します。ご覧ください。

[壮行会より]



毎日毎日練習を積みかさね、一人一人が技術を高め、そしてチームワークを高めてきた選手の皆さん。いよいよ、その日々の努力の成果を示す機会がやってきました。土・日曜日の更埴大会です。

今年は文化部の皆さんの支援が増えました。まず例年同様ですが、県下で最も迫力ある演奏ができる吹奏楽部の皆さんの演奏で入退場できることです。皆さんの心に勇気を与えてくれます。

二つ目は先ほど発表がありました。今年から美術部の皆さんが、忙しい中、皆さんの活躍を期待してステージバックを作成してくれました。皆さんの活躍が目に見えそうです。

三つ目、今年はコンピューター部の皆さんがデジタルカメラをもって各会場に伺い皆さんの活躍を記録し、その後発表をする予定です。活躍がずっと後までも残りますね。文化部の皆さんも、屋代中学校の運動部の皆さんに自分たちでできることで支援をしてくれます。その力を生かして頑張ろうではありませんか。

さて、壇上の選手の皆さんに言葉を贈ります。相手に勝つことは、すばらしい。しかし、きのうの自分に勝つことは、もっとすばらしい。諦めず最後までやり抜いた挑戦者は、立派な勝利者だ。怖がるものは何もない。努力の成果を示す更埴大会を、十分に楽しんでこよう。大会直前の金曜日と土曜日の朝、こんなことに取り組んでください

一 前日の金曜日

翌日の大会を頭に入れて、家でボール、ラケット、竹刀、柔道着等を、一番苦しかった場面を思い出しながら、きれいに磨いたりたたんだりしよう。スパイクやシューズは、土をきれいに落とし、ピカピカに磨こう。靴の紐も、柔道着の帯も、はちまきも帽子も、剣道着や手ぬぐいなどにいたるまで、ひとつひとつ、丁寧に点検しよう。そして、寝る前には、枕元に必要な道具を置こう。次に、静かに目を閉じて正座をし、大会を開始から終りまで、イメージしてみよう。



最後に、お世話になったユニホームや道具に、そして、これまで送迎したりお弁当を作ってくれたりして支えていただいたおうちの方々や、今日力強い支援をいただいた文化部の皆さんなど、屋代中学校の全生徒、地域の皆さん、ボランティアの方々から感謝をして「ありがとうございました」とお礼を言って寝よう。こんなことは、前日の夜しかできない。

二 次に大会当日

チームメイトの良さを引き出すことに挑戦してみよう。大きな拍手とか、「ナイスボール」「ナイスシュート」「ナイスサーブ」とか、良いところを大きな声で言い続けよう。必ず、ピンチはある。しかし、びくびくすることはない。良いところを探し続けて、言い続けてみよう。友達が幸運を運んでくれる。

最後に、我が屋中伝統のどこにも負けないものを、全員ですべての競技会場に残してこよう。出会った人に気持ちよくなってもらえるもの、それは“我が屋中の伝統のさわやかな挨拶”です。勝った時には、自慢することなく、身を慎み心静かに帰ってこよう。もしも、負けてしまっても決して臆することなく胸を張り、堂々と帰ってこよう。勝っても負けても、皆さんの明日につながる貴重な大会になるこ

